



9 月に入ってまだ暑い日もありますが、秋を感じる日もだんだん多くなってきました。
夏休み明けのテストは、どうだったでしょうか？夏休みの過ごし方も含め、勉強の仕方、時間の使い方によって、力が発揮できた人そうではない人に分かれるのではないのでしょうか。今回も失敗してしまったという人は、『次こそは』。今回うまくいった人は『さらに上を』。そんな気持ちで、残りの前期を過ごし、しっかりと前期を締めくくってほしいと思います。前期の通知票は、8 日に手渡されます。そして、その翌週から「後期」のスタートです。後期は生徒会役員をはじめ色々なところで 2 年生が前に立ち、引っ張っていく立場になります。ぜひ今まで以上の責任を持ち、みなさんの力で佐倉中がより楽しく、素敵な学校になるよう頑張ってください。

〈 10 月の主な行事予定 〉 月：部活動なし 最終下校 16：30

- 5 日（月）一斉下校（14：50）
- 6 日（火）桜陵祭中間発表（3・4 時間目）
- 8 日（木）生徒会任命式・前期後期入替式 ※部活動なし 5 時間授業（14：00 下校）
- 9 日（金）祭礼のため学校休業
- 12 日（月）スポーツの日
- 13 日（火）後期日課開始 一斉下校（14：50）
- 14 日（水）全校評議会
- 15 日（木）3 年生第 3 回実力テスト
- 16 日（金）全校委員会
- 19 日（月）一斉下校（14：50）
- 20 日（火）80 周年記念行事・桜陵祭前日準備
- 21 日（水）80 周年記念行事・桜陵祭
- 22 日（木）歌声委員会
- 23 日（金）教育相談スタート
- 26 日（月）一斉下校（14：25）
- 27 日（火）木曜日課 教育相談（～30 日）
- 30 日（水）一部会音楽発表会



保護者の皆様へ

＜ 80 周年記念行事・桜陵祭について ＞

- ・プログラムは、子どもを通して事前に配布しますので、当日の配布はありません。
- ・当日は、卒業記念 CD の録音等（業者 フォンテック）があるため、合唱発表時は体育館への出入りはお控え下さい。
- ・保護者の入退場は、体育館からとなります。体育館後方のみ使用となり、トイレは体育館 1 階トイレを使用してください。

＜ 前期期末テストを終えて ＞

先生方から講評をいただきました。これからの学習に生かしてください。

国 語	夏休み明けで、テストへの取り組みが心配されましたが、とても集中した雰囲気です。テストを迎えることができました。国語では、前回の反省点である「答え方の指示」を見落とさないようにするという点が改善されていました。また、漢字の読み書きがよくできていました。この調子で漢字への苦手意識を払拭してほしいと思います。次回は、古典分野からの出題もあります。本文をよく読み、古文のリズムを楽しみながら頑張ってください。
社 会	今回の定期テストは歴史的分野と地理的分野の両方から出題しました。さらに、小学校の既習事項である47都道府県、県庁所在地名を答えさせました。学習範囲が広く、対策に苦労したと思います。ただ、今回は、前回よりも平均点が、かなり上昇しました。宿題としては、ワークのテスト範囲の内容を書き込みノートで1回行います。しかし、それでは、知識が定着しづらいので、自ら夏休み中も含め、DSノートに、知識が定着するように主体的に繰り返し取り組んだ生徒が格段に増えたのが成績の上昇につながったと思います。つまり、今回成績が振るわなかった生徒は、3回目の定期テストに向けて、知識がまず定着するまで、ワークを繰り返すことを始めましょう。また、今回点数が上昇した生徒は、これからも定期テスト対策として、ワークの繰り返しを次回でも行うことを習慣化していきましょう。さらに地理的分野では、入試必出の雨温図の理解も、やはり入試必出の都道府県の暗記も正答率が高かったのは良い傾向です。 次回のテストは、入試で必ず出題される地形図が範囲の1つになります。地形図のポイントである、方位、地図記号、等高線、縮尺について、確実にできるよう、普段から予習（授業プリントを授業前に行う）→授業→復習（ワークを解いて問題に慣れる）のサイクルをしっかりと行っていきましょう。
数 学	今回は連立方程式の利用と一次関数の基礎・基本の内容が出題範囲でした。応用問題のほとんどは、連立方程式の文章問題であり、文章から式を立て、正しく計算ができるかが鍵でした。ここで苦戦した生徒が多かったです。文章題の内容としては、料金・人数・みはじ・割合がほとんどになるため、不得意な人は授業やワークの問題にもう一度トライし、慣れていきましょう。一次関数の出題内容は今後（後期中間）にも大きく関連する内容ばかりです。変化の割合や傾き、切片等、大事な言葉の意味を表・式・グラフと関連付けて理解しましょう。 最後に。授業でも話をしていますが、ワークの取り組み方はどうでしょうか。終わらせるための作業になってしまうととてももったいないです。自分が間違った、わからなかった問題を理解できるように繰り返し解けると本当の力として定着すると思います。頑張りましょう！
理 科	今回の範囲では化学反応式や計算の要素があり、全体として解くのにやや時間がかかったと思われます。ですが、計算の難問や思考問題に必要以上に惑わされず、獲得すべき知識問題を落とさずに獲得できた人が多かったと思います。理科では、覚える要素と、覚えた知識を組み合わせ活用する要素とがあります。繰り返しの学習で覚える要素（元素記号、化学式、用語など）を脳に染み込ませ、いろいろなパターンの問題（教科書、ワーク、ドリルパークなど）に触れて活用の要素を鍛えましょう。
英 語	連語問題が以前に比べ点数が取れるようになっていきます。過去形・三単現の「s」なども気にかけてチェックできるようになった人も増えていきます。難しくなればなるほど、ケアレスミスがもったいない！ワークの英作文や授業中に文章を書く際にも必ず自分で「見直しチェック項目」を振り返る習慣をつけましょう。また、夏休み明けもあり、リスニングに苦手を感じた人も多い様子です。覚えていない単語は聞き取りずらく、自分で言えない文も耳に入ってくるににくいものです。学年が進むごとに語彙が増えていきますので日頃から既習事項の語彙も復習しましょう。また普段の授業のリピートも漫然とするのではなく、リンキングや音の脱落に注目して取り組んでみましょう。

